

# 東海大学海洋学部&総合地球環境学研究所エリアケイパビリティプロジェクト

## 第2回水中文化遺産見学イベント (2014. 6. 14-15実施予定)

協力：八重山商工高校、八重山高校、八重山農林高校、沖縄県立博物館・美術館 片桐千亜紀  
 フジマリンサービス 藤井成児、水中文化遺産カメラマン 山本遊児  
 大阪府教育委員会 中西祐見子、石垣市教育委員会 島袋綾野

参加無料

**目的：**国境離島における海洋環境保全と海洋資源開発の重要性を次世代へと伝えるための教育プログラムの構築を目指した活動の一つである。

**実施内容：**石垣市の高校生の参加者を募り、2014年6月14、15日に考古学者らと水中文化遺産地点へ行き、水中ロボットを使って水中遺跡を見学する。

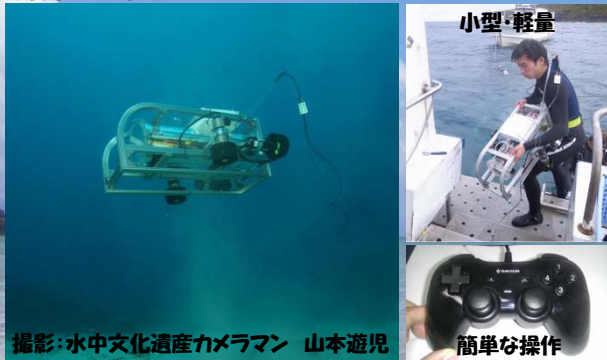
見学予定場所：石垣市屋良部崎沖海底遺跡

錨や壺などが多数存在

高校生対象 (第1回活動の参加者)



### 利用する水中ロボット



#### 水中ロボット仕様

小型軽量：約14kg、一人で持ち運び可能  
 最大潜航深度：約30m (ケーブル長さ50m)  
 撮影機能：ハイビジョン映像の録画  
 拡張性：アームや様々なセンサの搭載が可能

#### 操縦装置

ロボットカメラの映像は船上のパソコンに表示  
 操縦者はゲームコントローラでロボットを操縦

※ハードウェアおよびソフトウェアは、東海大学海洋学部の坂上研究室で設計・開発しているため様々な調査に対応可能

### 高校生が水中ロボットで撮影した遺跡の写真



### 地元高校生らの船上作業の様子 (第1回活動の様子)



### 当日プログラム (予定)

- 8:15~ 出港場所に集合
- 8:30~ 遺跡見学地点に向け出港
- 10:00~ 水中ロボットによる水中遺跡見学
- 12:00~ 昼食
- 13:00~ 水中ロボットによる水中遺跡見学
- 15:00~ 見学終了、帰港

※これらのスケジュールは安全のため天候や船長の判断、考古学者らの調査状況により変更されることがあります。

- 持ち物など
- 作業できる服装・靴
  - 軍手
  - タオル
  - 昼食・水分
  - 筆記用具
  - カメラ